

会 議 録

会議名	令和6年度第2回和泉市公共施設マネジメント推進本部会議
開催日時	令和6年11月20日（水）午前10時30分から午前11時43分まで
開催場所	和泉市役所3階3A会議室
出席者	<p>本部長：森吉副市長（本部長）、吉田副市長（副本部長）、大槻教育長（副本部長）、並木参与、山本危機管理部長、前田市長公室長、土本総務部長、山崎環境産業部長、西川福祉部長、立花市民生活部長、藤原子育て健康部長、林田都市デザイン部長、近藤上下水道部長、辻教育次長兼生涯学習部長、東教育・こども部長、岡田消防長、藤原行政委員会総合事務局長、左海財政課長、</p> <p>事務局：門林政策企画室長、田嶋政策・資産マネジメント担当課長、加藤総括主幹、丸岡総括主査</p> <p>関係課：米田危機管理課長、竹田選挙管理委員会事務局総括参事</p>
議事	（仮称）防災備蓄倉庫の検討について
会議資料	<p>次第</p> <p>【資料番号 1】（仮称）防災備蓄倉庫の検討について</p> <p>【参考資料 1】和泉市公共施設マネジメント推進本部会議設置要綱</p>
会議の要旨	<p>過去の庁議で決定した庁舎第2分館の整備については、「現消防本部を除却し、防災備蓄倉庫を新築するということで、検討を進めること」とする。</p> <p>この件については、令和6年第4回定例会総務企画委員会協議会に報告する。</p>
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input checked="" type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）

発言者	審 議 内 容 (文中敬称略)
事務局	<p>本日の案件は次第のとおり、「(仮称) 防災備蓄倉庫の検討について」となっている。</p>
	<p>議事 (仮称) 防災備蓄倉庫の検討について</p>
森吉本部長	<p>この件に関しては、過去の庁議で決定した「庁舎第2分館の整備」を再検討しようとするものである。</p> <p>本年1月の能登半島地震を受けて、防災備蓄に関する本市の考えを整理する必要がある、取組みの進め方を検討してきたところである。</p> <p>つい先日、一定の方向性を整理できる見通しが立ったことから、急遽、本日の議事にあげたものであり、部局長においては、初見の内容もあるかと考えるが、本日の資料をもって、第4回定例会総務企画委員会協議会での報告を予定しているため、色々な観点から意見をいただきたい。</p> <p>事務局から資料の説明を願う。</p> <p>【資料番号1】(仮称) 防災備蓄倉庫の検討について (1 ページ) (1. 目的)</p>
事務局	<p>まず、市内の指定避難所及び公共施設の備蓄倉庫等には、大阪府から示された災害用備蓄品を備蓄している。</p> <p>令和6年1月に発生した能登半島地震を受け、令和6年6月に「大阪府域救援物資対策協議会」から、今後の大規模災害時における災害用備蓄品に関する備蓄方針が示された。</p> <p>これを受け、本市として現在の備蓄品に加え、新たな備蓄品を備蓄していく必要がある。</p> <p>また、大規模災害時には国や都道府県等からプッシュ型による備蓄品が配送されてくるため、受け入れ可能なスペースを確保しておく必要がある。</p> <p>以上のことから、現在、旧消防本部跡地で取組を進めている防災備蓄倉庫及び庁舎第2分館の整備を再検討しようとするもの。</p> <p>収納予定備蓄品としては、水洗トイレからポータブル電源までを列記している。</p> <p>現在の庁舎第2分館の整備予定では、黄色で着色している部分、主に車庫・仮眠室部分、消防本部棟の1階部分、消防団拠点施設の1階、2階部分を活用することを想定し、1,913㎡のうち1,003㎡を使用予定である。</p> <p>なお、この中で防災備蓄倉庫の部分は、車庫・仮眠室部分の333㎡を予定していたが、今回、示された備蓄方針を受けて、必要となる備蓄倉庫の規模としては、通路や物資の受入スペースを含んで約750㎡の想定となるため、新築の検討を行うものである。</p> <p>(2. これまでの経過)</p> <p>令和3年6月15日の庁議において、北西部地域公共施設の再編成に係る事業を進める</p>

うえで、基本となる配置計画を意思決定し、令和3年第2回定例会総務企画委員会協議会へ報告を行っている。

主な内容としては、2点ある。

1点目は、現消防本部は、除却は行わず、書庫・倉庫、防災備蓄倉庫として跡地活用を行い、令和7年度に供用開始予定。

2点目は、庁舎第1分館、庁舎第2分館の機能を確定し、旧市立病院南館及び現消防本部を有効に活用。

この2点を庁議等で確認・意思決定をしている。

(2 ページ)

(3. 整備費の比較 (26 年間での概算費用の比較))

26 年間での概算費用の比較をしている。

この26年とは、①の現状の建物の残存耐用年数が26年であることから、26年間の概算費用の比較を行った。

①現状では、活用する面積1,003㎡に対して、整備費8,490万円を見込んでいる。交付税算入を考慮すると市負担(A)は6,509万円となるが、後年度に必要となる改修費用及び除却費用として2億3,000万円を見込むと、26年間の市負担(A) + (B)は2億9,509万円の費用がかかる。

②③の新築については、先ほどの防災倉庫として必要な750㎡を想定しており、それぞれ財源として活用する起債が異なるものである。

市の負担は②の方では、合計で3億1,980万円、③の方では、合計で2億800万円を想定している。

なお、②と③の起債について、防災対策事業債を活用した②の方では、現状の2億9,509万円に対して、3億1,980万円と費用が高くなっているが、③の緊急防災・減災事業債を活用できた場合は費用が2億800万と安くなる。

緊急防災・減災事業債については、現行の制度が令和7年度までであり、現在この制度に関する国からの延長等の情報はないが、延長されるかどうかを注視している状況である。

また、先ほど説明した②③の起債については、その他倉庫などの暫定利用の可能性も想定し、750㎡の内、3分の2相当を対象にした形で見込んでいる。

750㎡全てを起債対象にできるとなると、これよりも費用負担は小さくなるが、詳細は、今後、府と協議するものである。

その他、現状の改修と新築でのそれぞれの比較を行っている。

使い勝手では、新築の方が向上すると考えている。

FM効果では、現状の予定での改修後1,913㎡から新築750㎡になるという観点で、面積が縮減されるという効果があると考える。

耐用年数では、現状の建物の残存耐用年数が26年あるため、この26年分を放棄することになるが、新築では新たに耐用年数が60年になる。

事務局	<p>供用開始では、現状よりも新築の方が約2年遅れる。</p> <p>隣接地への影響では、具体的には隣にできる民間の認定こども園を想定しており、景観については、古い建物があるよりも新築の方が良くなるのではないかと考えるが、一方で、整備時の騒音については、約2年遅れる形になり、新築の工事があるため、騒音という形で一部デメリットがあると考えている。</p> <p>(4. 今後の予定)</p> <p>令和6年12月の第4回定例会総務企画委員会協議会でこの内容を報告し、令和7年1月までに課題整理にあたり、関係者等の調整を進めて、令和7年1月に庁議等の開催、意思決定を予定している。</p> <p>最後に令和7年2月に当初予算案を提出したいと考えている。</p>
森吉本部長	<p>これまで、庁舎第2分館は、防災備蓄と倉庫・書庫機能という役割があったが、今検討している防災備蓄倉庫には、書庫機能は必要ないという判断か。</p>
事務局	<p>書類については、現在整備中の庁舎第1分館で収まる予定であるため、第2分館として、書庫機能は不要である。</p>
森吉本部長	<p>事務局から説明があったが、まだまだ細かな庁内調整も必要であると感じている。</p> <p>色々な観点から、細かな気づきなど、質問や意見はないか。</p>
近藤部長	<p>建替にあたって除却するのは、消防本部の本部棟のみか。</p>
事務局	<p>本部棟、車庫、消防団拠点棟の全てを除却する。</p>
東部長	<p>隣接地に民間園を整備する予定となっていることに関連して2点調整を願う。</p> <p>1点目は、民間園の事業者は消防本部の建物が残る認識で、現在、民間園の建設工事業者を入札で決定しようとしているところと聞いている。</p> <p>(仮称)防災備蓄倉庫のスケジュールの詳細は未定だと思うが、仮に令和7年度に除却して、令和8年度に建設工事と想定すると、令和7年度の民間園の建設工事と重なることになる。</p> <p>また、令和8年度の民間園開園後に市の建設工事が行われることになる。</p> <p>適切なタイミングで適切な内容を民間園の事業者伝えるべきと考えるため、こども未来室と調整を願う。</p> <p>2点目は、開園後の通園の安全確保として、既存の電柱の1つを開園までに庁舎第二分館の敷地に移すことを検討している。</p> <p>この対応については、地域から強い要望を受けているもので、今回の見直しによって、遅れてしまうことは避けたいため、こども未来室と調整を願う。</p>

森吉本部長	この2点については、関係課と調整を行い、スケジュールの件については、市として、なるべく早い段階で民間事業者の説明することとする。
大槻副本部長	民間園は医療的ケアの子どもを預かる園になる。 学校の工事なら登校時間には、工事車両の進入を配慮するものだが、医療的ケアの園では通常の登園時間以外にも登園することがあるので、安全確保により一層の配慮が必要である。
土本部長	起債の活用に関連して、今回の整備の位置付けをどう考えているか。
事務局	今回整備するのは、約750㎡の防災備蓄倉庫と考えている。
土本部長	今回、庁舎第2分館の位置付けが変わるのであれば所管や庁舎第1分館という名称についても再調整が必要と考える。 銘板にも影響がある。
事務局	関係課と調整を行う。
辻部長	(仮称)防災備蓄倉庫は救援物資集積場所にもなると考えるが、地域防災計画の変更予定や市立体育館、市立コミュニティ体育館を救援物資集積場所から外す予定はあるか。
山本部長	(仮称)防災備蓄倉庫を位置付ける必要があるため、地域防災計画を変更予定だが、支援物資が(仮称)防災備蓄倉庫に収まりきらなかった場合には、集積場所として体育館が必要であることに加えて、遺体の安置所等として、屋根がある場所の確保が必要であるため、市立体育館、市立コミュニティ体育館は救援物資集積場所から外さない。
西川部長	民間園の事業者は、元々は消防本部の敷地の奥ではなく、手前で整備したいという意向であった。 また、民間園は医療的ケアの園であり、夏休み等もなく、発達障害の子どもも入ると思われるため、工事中の騒音が懸念される。
森吉本部長	以前は手前に整備したいという話もあったが、実施設計が完了しているため、この段階で変更したいということはないと考えられるが、今回、能登半島地震を受けて方針を変更して建替することを検討するということは、速やかに連絡し、理解を求める必要がある。 騒音の問題については、大きな音が発生する地上部分の除却に関しては、令和7年度中の完了を想定している。 しかしながら、民間園が開園する令和8年度にも、地下関係の杭撤去や、1階建ての建築工事による一定の騒音が発生するため、利用者に説明して理解を求める必要がある。

並木参与	<p>元々は、民間園の運営に支障がないように庁舎第2分館を令和7年度中に整備予定であったことから、民間園の事業者には、市の状況を説明して、理解を求める。</p> <p>安全面、子どもへの影響については、関係部局と引き続き調整を行う。</p>
東部長	<p>今回の内容について、民間園の事業者には、早急に説明する必要があると考える。</p>
森吉本部長	<p>令和6年第4回定例会総務企画委員会協議会への報告までに事業者の説明を行うこととする。</p>
山崎部長	<p>旧リサイクルプラザについて、先般、総務管財室において、サウンディング調査を行い、建物を活用する意向を示している事業者が複数あったと聞いている。</p> <p>建物の除却費用が不要となることもあるため、民間事業者の意向が変わらないうちに速やかに売却処分していただきたい。</p> <p>そのために、現在、旧リサイクルプラザに仮置きしている庁舎第2分館で保管する予定であった備品等については、空き教室等、他のスペースを確保いただくなどの調整を願う。</p>
山本部長	<p>備品等の仮置き場については、他の部局にも協力願う。</p>
藤原局長	<p>全体の物品の配置を見直す必要があるのではないか。</p>
森吉本部長	<p>今回の話は（仮称）防災備蓄倉庫に保管できるようになるまでの仮置きの話であるため、配置の見直しは行わないが、一時的な対応については、別途考えるものとする。</p>
吉田副本部長	<p>この案件で急遽、会議を開催することになった理由は何か。</p>
事務局	<p>消防本部を改修して庁舎第2分館を整備する方針から（仮称）防災備蓄倉庫を新築整備する方針に変更するとなれば、工事等で民間園に影響を与えることになる。</p> <p>影響を与える期間を短くするためには、当初予算で新築に関する予算の計上が必要で、その場合、再検討することを令和6年第4回定例会総務企画委員会協議会に報告する必要があるため、急遽、会議を開催することとなった。</p>
吉田副本部長	<p>市として意思決定をする必要がある。</p> <p>意思決定のスケジュールとして、何をいつまでに決めるのか。</p>
事務局	<p>今回の協議会報告は、庁舎第2分館の整備を再検討するという報告を行う。</p> <p>令和7年の1月中には課題整理を行い、庁議等で意思決定を行う。</p> <p>また、本日の午後から、協議会報告することを市長に説明する予定である。</p>
吉田副本部長	<p>財源について、現状の改修を行う場合の概算費用約2億9,500万円は、収支見込に入っ</p>

	<p>ているか。</p>
左海課長	<p>和泉創発プランの収支見込は 10 年間であるため、改修後の除却・整備費用の 2 億 3,000 万円は入っていない。</p>
吉田副本部長	<p>ハード面の計画が先行しているように感じる。</p> <p>中で何をするかという計画が問われるため、中身はこうで、面積はこうなるという施設計画が予算までには必要になると考える。</p>
山本部長	<p>備蓄計画はできているが、今回の資料には載せていない。</p>
吉田副本部長	<p>備蓄だけでなく、周辺の施設とも関連があり、全体の防災計画とも関連がある。</p>
事務局	<p>本日の資料は、再検討を行うということを協議会報告するための資料である。</p> <p>必要事項を検討しながら庁議までに内容を整理したい。</p>
森吉本部長	<p>他に質疑等ないため、過去の庁議で決定した消防本部を庁舎第 2 分館として活用する方針を再検討し、「庁舎第 2 分館の整備については、消防本部を除却し、防災備蓄倉庫を新築するということで、検討を進めること」とする。</p> <p>なお、この件については、令和 6 年第 4 回定例会総務企画委員会協議会に報告し、必要事項を検討の上、庁議までに整理することとする。</p> <p>予定している議事は以上である。</p> <p>以上をもって、令和 6 年度第 2 回和泉市公共施設マネジメント推進本部会議を終了する。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>